

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 1日

事業所名 児童デイサービスぶどうの木阪神西宮

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|----|--|----|-----|--|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | 子どもの特性に合わせ、個別や集団での支援ができるように訓練室を設けています。 | 設置基準に基づいたスペースを確保しています。引き続き、子どもの特性に合わせ、個別や集団での支援ができるスペースを十分に確保し、清潔感を保てるよう努めていきます。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | ○ | | 基準に則って配置し、子どもが安心して通所できるように一人一人に担当の職員を決めています。 | 引き続き、基準に則った配置に加え、一人一人に担当の職員を決めて支援を行います。また各職員の専門性を活かし、職員間で知識と経験を共有する事で、より良い療育が出来るよう努めていきます。 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | ○ | | 子どもが負担や制限なく楽しく通所できるように環境を整え、随時改善しています。 | 子どもが負担や制限なく楽しく通所できるように環境を整え、随時改善しています。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | ○ | | その日の子どもの様子に合わせて過ごせる場所を確保し、楽しく学べる空間を作っています。 | その日の子どもの様子に合わせて過ごせる場所を確保し、楽しく学べる空間を作っていきます。 |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | ○ | | 日々の支援を進めて行く中で疑問や問題点を職員で話し合い、それに対する対応と結果も共有する時間を持っています。 | 職員間で疑問や問題点について話し合い、より良い支援が出来るよう業務改善に努めていきます。 |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | 毎年アンケートを実施し保護者等の意向を把握して業務改善に努めています。 | 引き続き定期的に保護者等の意向を把握して業務改善に努めていきます。 |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | 評価表の結果を踏まえた改善内容等は当事業所のホームページにて公開しています。 | 引き続き当事業所のホームページにて公開していきます。 |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | 特にしていませんが、そのような機関があれば活用したいと考えています。 | そのような機関があれば活用したいと考えます。 |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | 近隣の研修会を紹介したり、職員からの申し出によっても業務時間内外で研修に参加できる機会を作っています。 | 引き続き、研修参加の機会を設け、職員間で内容を共有し、資質の向上に努めていきます。 |
| | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | | 子どもと保護者のニーズや課題を聞き取った上で、発達検査などを行い、客観的な指標も取り入れてアセスメントし、計画を作成しています。 | 引き続き、子どもの様子、保護者からの聞き取り、発達検査などの客観的な指標を取り入れて支援計画を作成していきます。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----|---|----|-----|--|---|
| 適切な支援の提供 | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | 適切にアセスメントした上で、個別活動と集団活動の支援内容を検討し、計画を作成しています。 | 引き続き、子どもの状況に応じ個別活動・集団活動の両面から支援内容を検討し、支援計画の作成を行っていきます。 |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○ | | 目標に向けた現在の支援の目的やそのための方法、内容をわかりやすい言葉を使いながら、計画を作成しています。 | 引き続き、必要な支援内容をわかりやすい言葉で具体的に伝えながら支援計画を作成していきます。 |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | 日々の支援内容や状況を職員間で共有し、支援計画に沿った適切な支援へとつなげ、保護者へ定期的に説明することで安心して通所していただけるようにしています。 | 引き続き、日々の支援内容や状況を職員間で共有し、支援計画に沿った適切な支援へとつなげ、保護者へ定期的に説明することで安心して通所していただけるようにしていきます。 |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | 職員間で定期的にカンファレンスを開き、子ども一人一人の支援内容や活動プログラムを検討しています。そうして子どもの現状と取り組みを職員間で共有できるようにしています。 | 引き続き、子どもの現状と取り組みをカンファレンス等で共有し、子ども一人一人に合った活動プログラムを考えていきます。 |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | 支援内容を固定し、継続的に支援することのメリットも念頭に置きながら、その時々の子どもの状況と課題をアセスメントすることで幅広い学びにつながるように内容を検討しています。 | 引き続き、その時々の子どもの状況と必要性をアセスメントし、同じ課題を継続するか、新しい課題を提供するかなどを検討し、子どもにとって幅広い学びに繋がるよう支援していきます。 |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | ○ | | 適切にアセスメントした上で、個別活動と集団活動の支援内容を検討し、計画を作成しています。 | 引き続き、子どもの状況に応じ個別活動・集団活動の両面から支援内容を検討し、支援計画の作成を行っていきます。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----|---|----|-----|---|---|
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | サービス提供時間前に職員でその日のスケジュールや活動内容、子どもや保護者の前週までの状況を把握しています。 | 引き続き、職員間でその日のスケジュールや活動内容、子どもや保護者の前週までの状況を把握した上で、支援内容を検討・準備していきます。 |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | 終了後にカンファレンスを行い、子どもや保護者の状況や変化、支援の上での確認事項を共有しています。また、日々のレポートにも明記し、職員が常に確認できるようにしています。 | 引き続き、終了時のカンファレンスと日々のレポートを通して情報の共有化に努めていきます。 |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | レポートを書くことも子どもに向き合うことの一つだと考えています。そのため、レポートを書きながら職員がその日の療育の振り返りや今後の課題を見つける機会にしています。 | 引き続き、日々のレポートを通して療育の振り返りや今後の課題を見つけていき、より良い療育が提供できるよう努めていきます。 |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | 保護者と話をする機会を定期的に設け、子どもの園や学校での様子や家での様子、保護者の思いや悩みを聞き、子どもに必要な支援をモニタリングして計画を見直しています。 | 引き続き、子どもの園や学校、家での様子や、保護者の思いや悩みを聞く中で、子どもに必要な支援を定期的に見直していきます。 |
| | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | サービス担当者会議にはできるだけ参加し、関係機関の方と顔を合わせ、子どもの状況の共有を積極的に行っています。 | 引き続き、サービス担当者会議に参加する中で、子どもの状況の共有を積極的に行っていきます。 |
| 関係機関や保護者 | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | 必要に応じ情報共有をし、関係機関と連携して支援を行っています。 | 引き続き、必要に応じて情報共有をし、関係機関との連携した支援を行っていきます。 |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | - | - | - | - |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | - | - | - | - |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | 保護者の求めに応じて、当事業所での様子や支援内容、発達検査の結果を園や学校と情報共有しています。 | 引き続き、保護者の求めに応じて、当事業所での様子や支援内容、発達検査の結果を書面や口頭にて伝え、情報共有をしていきます。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------------|----|--|----|-----|--|--|
| 護者との連携関係機関や保護者との連携 | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | 保護者の求めに応じて、当事業所での様子や支援内容、発達検査の結果を情報提供しています。 | 引き続き、保護者の求めに応じて、当事業所での様子や支援内容、発達検査の結果など必要な情報を提供していきます。 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | 専門機関と情報共有、連携する機会もあり、専門機関の実施している研修に参加して、支援の質を高めるよう努めています。 | 引き続き、専門機関との情報共有や、研修へ参加する機会を持ち、職員の支援の質を高められるよう努めています。 |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | | ○ | 事業所としては交流を持つ機会を持っていません。 | 現時点では予定はありませんが、今後希望があれば検討していければと思います。 |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している | | ○ | 積極的な参加には至っていません | 今後必要に応じて参加していければと思います。 |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | 通所時に保護者と話をする時間を設け、子どもの状態や様子、支援の内容の共通理解を深めています。また希望があれば子どものいない時間帯での面談を実施していきます。 | 引き続き、通所時に保護者と話をする時間を設け、常に相談し、サポートを受けられる体制を整えています。 |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | | ○ | プログラムとしては取り入れていませんが、定期的に子どもの特性に合わせた関わり方を保護者にアドバイスさせていただいています。 | 現時点ではプログラムとして取り入れる予定はありませんが、定期的に子どもの特性に合わせた関わり方を保護者へアドバイスさせていただきます。 |
| | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | 見学に来られた時や契約時にご説明させていただいています。利用者負担については請求時にもその都度ご説明させていただいています。 | 引き続き、見学時や契約時などを通して、丁寧な説明を心掛けていきます。 |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | 子どもを担当している職員から新たに計画を作成した時にはきちんとご説明し、必要な時にはコピーをしてお渡ししています。また、支援の内容について保護者と定期的に話をしていきます。 | 引き続き、支援計画の変更や更新時は担当職員より説明をさせていただき、コピーをお渡しさせていただきます。また支援内容については保護者と定期的に話をさせていただきます。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|------------|---|--|----|---------------------------------|--|---|
| 保護者への説明責任等 | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | 通所時に保護者と話をする時間を設け、常に相談し、サポートを受けられる体制を整えています。 | 引き続き、通所時に保護者と話をする時間を設け、常に相談し、サポートを受けられる体制を整えていきます。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | ○ | 事業所としては保護者同士の連携支援は行っていません。療育の間待合室で情報交換をさせている方もおられます。 | 現時点では事業所が主催する保護者会などの予定はありませんが、今後希望があれば検討していければと思います。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | 契約時の重要事項説明書に事業所の苦情担当者や第三者の相談機関を明記し、苦情の対応体制を整備しています。苦情があった際には、事業所や会社として対応を検討し、その内容を保護者や職員に周知して、再発防止に努めています。 | 苦情があった際には、その課題に対して事業所や会社として対応を検討し、その内容を保護者や職員に周知し、再発防止に努めていきます。 |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | | ○ | 現在のところそのような取り組みは行っていません。 | H30.12よりHPを開設しました。 https://budonokiamagasaki.jimdofree.com/ 今後、子どもや保護者にとって必要な情報や有益な情報を提供できる方法を検討していきたいと思います。 |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | | 細心の注意を払っています。第三者に情報提供する際には保護者の同意を得た上で対応しています。 | 引き続き、細心の注意を払い、個人情報の保護に努めていきます。 |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | 相手の得意なコミュニケーション方法を用いて、伝わりやすいよう、適切に情報共有できるように努めています。 | 引き続き、個々に合った伝わりやすい形を用いて適切に情報共有できるように努めていきます。 本人の前で話しにくい内容の時は、別室を用意するなど適宜対応しています。 |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | ○ | 事業所としては地域住民を招待するような活動は行っていません。 | 現時点では地域住民を招待する活動の予定はありませんが、今後希望があれば検討していければと思います。 |
| 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | 緊急時を想定し対応を検討したマニュアルを作成しています。 | 昨今の自然災害の状況も踏まえて、職員間で内容をもう一度精査し、子どもや保護者に周知していくように努めていきます。 | |
| 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | 子どもたちと一緒に避難経路の確認し、避難訓練を実施しています。 | 定期的に実際の災害時を想定した避難訓練が実施できるよう検討していきます。 | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|----|--|----|-----|---|---|
| 非常時等の対応 | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | ○ | | 初回聞き取りにて確認をしています。その後も必要に応じて来所時等に確認を行っています。 | 引き続き、初回聞き取り時に加え、必要に応じてその時々々の状態把握に努めていきます。 |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | | ○ | 食事は提供していません。 | 今後も食事提供の予定はありません。 |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | 事故や怪我になりそうなヒヤリハットな事例があった際には報告証を作成し、情報を共有し、職員間で注意喚起、環境整備を行っています。その報告書を事例集として作成しています。 | 事例集で起きたようなことは2度と起こらなように情報の共有、危険な場面の状況の把握に努め、危険認知力を高めていきます。 |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | 虐待が子どもへ与える影響を職員に周知し、研修やカンファレンスなどを実施することで職員の負担や悩みの軽減を図り、虐待防止に努めています。 | 引き続き、虐待が子どもへ与える影響を職員に周知して虐待への意識を高め、カンファレンスなどを実施することで職員の負担や悩みの軽減を図り、虐待防止に努めていきます。 |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | | 基本的には身体拘束はしません。しかし、子どもや職員に危害が及ぶと事業所で判断した際は、保護者の同意のもと、クールダウンするまで危険がないように環境を整え、対応します。 | 引き続き、身体拘束はしない事を前提に支援を行っていきます。やむを得ない場合は保護者の同意のもと、クールダウンするまで危険がないように環境を整え、対応していきます。 |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。